

飯伊地区 産業経済動向

No.513 2021/12
(4.1.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

http://www.iidashinkin.co.jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標	実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	2,442 枚	△ 2.7 %	△ 9.5 %	△ 27.2 %
	金額	3,308,550 千円	8.9 %	△ 7.0 %	△ 26.3 %
うち不渡発生状況	枚数	1 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)	(前々年同月 0 枚)
	金額	20 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)	(前々年同月 0 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上) (11月)	県内	6 件	(前月 10 件)	(前年同月 6 件)	(前々年同月 8 件)
	飯伊	1 件	(前月 1 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 2 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (11月)		75 戸	1.4 %	41.5 %	△ 23.5 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (11月)		1.48 倍	(前月 1.50 倍)	(前年同月 1.15 倍)	(前々年同月 1.41 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,940 台	△ 1.9 %	△ 8.8 %	△ 3.5 %
	中古車	667 台	△ 3.8 %	△ 4.9 %	1.1 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (11月)	新車	3,583 台	18.9 %	△ 17.3 %	△ 11.2 %
	中古車	937 台	△ 6.1 %	12.6 %	0.0 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	94,435 台	△ 6.8 %	3.2 %	△ 13.8 %
	出	96,472 台	△ 4.4 %	3.5 %	△ 14.7 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	58,819 台	△ 16.5 %	△ 11.9 %	△ 23.0 %
	出	58,136 台	△ 17.4 %	△ 12.2 %	△ 23.1 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	11,503 台	△ 42.1 %	12.2 %	△ 16.4 %
	出	11,670 台	△ 41.3 %	15.8 %	△ 15.0 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	38,502 台	△ 22.2 %	14.5 %	△ 1.6 %
	出	38,894 台	△ 21.9 %	15.3 %	△ 1.1 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	31,959 台	△ 4.3 %	- %	- %
	出	31,403 台	△ 4.6 %	- %	- %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		180 件	71.4 %	△ 28.0 %	△ 13.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0 件	(前月 0 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 2 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	15,968 人	23.0 %	183.7 %	△ 44.2 %
	飯田～名古屋	11,360 人	12.2 %	95.4 %	△ 38.8 %
	飯田～長野	3,884 人	△ 0.5 %	24.4 %	△ 50.9 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	9,827 人	36.3 %	200.2 %	△ 56.5 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,119 人	8.9 %	△ 2.7 %	△ 16.8 %
	右回り	2,985 人	10.9 %	△ 2.7 %	△ 23.1 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www.iidashinkin.co.jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。

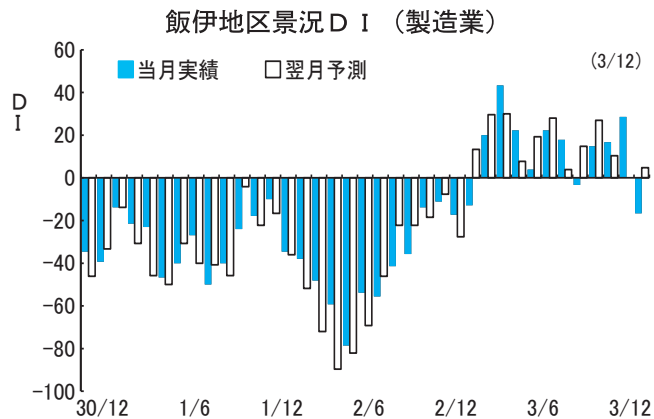


再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DI、時期的な事情もあり、前月より低下。

当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス16.7で、前月から45.3ポイント低下。正月飾りの製造、販売が終了した水引、冠婚葬祭・祝儀用品製造業などで景況感の悪化が見られる。他方、景況感の好転までには至らないものの、高水準の生産状況を伝える声も多い。こうした中、業種を問わず、コロナ禍や国際情勢が経済に与える影響を懸念する声があるほか、依然として原材料、資材価格は高騰しているとの声は多い。

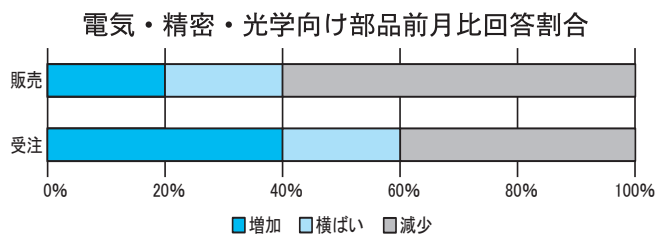


（資料：新建新聞入札結果欄より抜粋）

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- 受注、販売…受注、販売とも、業者により増減分かれる。
- 景況感…一部に悪化との声もあるが、概ね横ばい。先行きも、一部に弱含みとの声はあるものの、総じて大きな動きは見込まれていない様子。
- 原材料価格…上昇しているとの声は、依然多い。

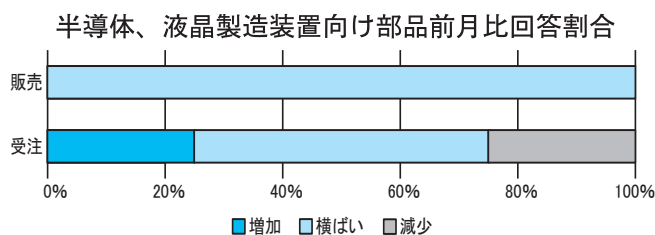


[企業からのコメント]

- ・新型コロナウイルスの世界経済への影響が長期的に懸念されているが、受注状況は回復してきていたし、販売も継続して好調。足元の景況は少しずつ回復している。しかし、この先の状況には、半導体入手不足と価格上昇、原油高、中国経済の低迷など、不透明感が出てきている。
- ・半導体価格の高騰で製品価格を上げざるを得ない状況。納期確保と価格高騰の両面で頭が痛い。
- ・「人員不足が続きそう」「人員不足が見込まれる」「設備投資予定あり」「投資実行中。今後も検討している」

●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- 受注、販売…受注の前月比は、横ばいとの声が多いが、客先により増減があるとの声も。販売は引き続き高水準といい、景況感にも大きな動きは見られない。
- 製品価格…原材料、資材価格の上昇に応じ、多くの調査先で顧客に対する価格交渉を実施ないし検討しているという。

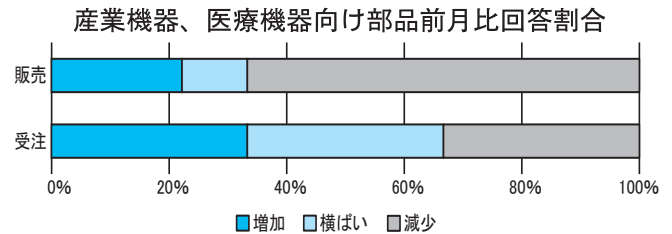


[企業からのコメント]

- ・エンドユーザーのフル稼働で、スペアパーツやリペア需要が増加。半導体製造装置需要等も好調で、これらを含めて当面落ちる要素がなく、年間通して高水準の状況が続くのでは。
- ・メイン先で半導体、部品不足の影響から生産が鈍っている。ほかの顧客は順調。半導体業界は順調との声もあるが、中国市場の落ち着きから中休みといった感もあり、少し不安。
- ・フォアキャスト情報は高いレベルだが、本受注では現状維持で進むのでは。
- ・「原材料高騰で実質値下げ。値上げ交渉はまだだが、そろそろ限界」「各顧客にコストアップ要請実施」

●産業機器、医療機器向け等機械部品

- 販 売…販売の前月比は、減少との声が多く、景況感が悪化した業者も。
- 受 注…受注の前月比は、横ばい～やや増加との声が多い。前年比増加との声も複数。
- 原材料価格…アルミ、薬品、燃料など上昇という。



[企業からのコメント]

- ・「産業用機械関連では、受注状況は高止まり。しばらく現状が続くそう」「産業機器関連は、過去例を見ないような受注が続き、外注比率が拡大」「出荷の人手不足や、納期などの問題も起こっている」「月後半から動きが出てきて、製品在庫も減少」「客先から話はあるが、出図遅れなどで生産開始が遅くなり、他社と納期が重なってしまうこともある」
- ・「医療機器関連では部品不足で生産調整中。当面減産が続くそう」「コロナの影響は心配」
- ・国際状況、コロナ、先のビジョンを考えると、何を起点にして考えればよいのか分からない。
- ・「客先の生産キャパが限界に近いことを考えると、今後2、3年で大きく変わるのでは」「産業構造の変化があるのでは」

●半生菓子、菓子原料等

- 売 上…前月比は横ばい～やや増加。景況感は概ね横ばいも、コロナ禍の経済への影響を懸念する声は少ない。
- 雇 用…不足感を指摘する声も複数。
- 原材料価格…引き続き上昇基調も、販売価格は横ばいという。

[企業からのコメント]

- ・「コロナの状況が落ち着いてきたため期待していたが、オミクロン株の影響が心配」「春先の繁忙期に、コロナ禍が経済に与える影響が気になる」
- ・聞くところでは、スーパーの年末商戦は、前年より良かったものの、菓子に限っては前年よりも悪かったという。
- ・「人員不足気味。増員予定」「人員が複数名足りない」

●水引、冠婚葬祭・祝儀用品

- 売 上…時期的な事情もあり、前月比減少。
- 原材料価格…依然上昇基調にあるとの声。

[企業からのコメント]

- ・正月用品は例年通りの販売。笑顔とまではいかないが、順調に推移。一方、冠婚葬祭関連は、最低限の売上は確保したが、秋風索漠といった感も。
- ・従来製品、特にブライダル関係の動きは、低調のまま推移。
- ・水引材料の大幅な値上がり提示に困惑している。

●上記以外の製造業

- 建築用金属製品…引き続き低調との声。原材料、資材価格が更に上昇という。
- 自動車向け部品…景況感の好転には至らないまでも、販売は、前月比、前年比ともやや増加との声。原材料、資材価格は上昇という。
- 印刷、出版関連…販売は前月比、前年比ともやや増加という。今後の原材料価格の上昇を指摘する声。
- 服飾製造……………販売は、前月比やや増加も、前年比減少。先行きは改善を見込むという。

[企業からのコメント]

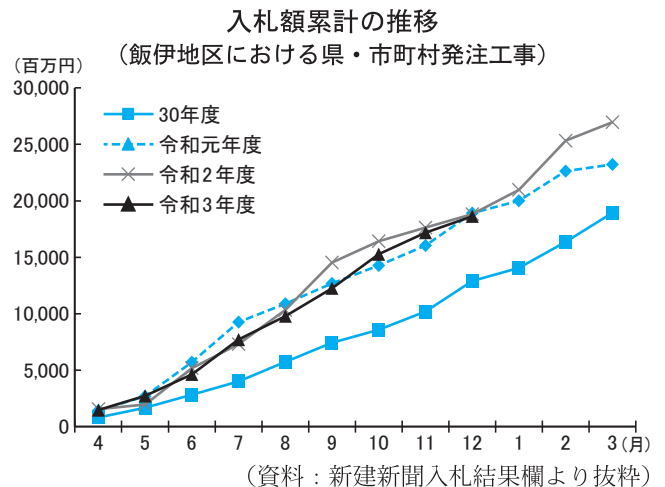
- ・建築関連は引き続き低調。しかし、少しずつ引き合いは増加しており、防災関係でも問い合わせは増えている。
- ・「年賀状印刷の減少が年々続く。SDGsもあって企業が廃止する傾向が見受けられる」「印刷物は、少しずつ戻りつつあるように思われたが、ここに来てコロナ禍への不安が更に大きくなった」「印刷用紙の値上げが年明けから本格化。お客様の理解を得ることが課題」
- ・「年末商戦は、コロナ禍で人の流れがなかった昨年より遥かに販売が多く、アパレルの在庫も捌けた様子。とはいえ、1年半のブランクは大きく、本格的に回復するにはインバウンド需要の復活や新規商品の企画が必要。ネット販売以外の手段を講じる必要もありそう」「服飾製造の国内回帰が起こっているが、縫製できるところが少ないのは国内も海外同様。今後のアパレルの姿勢が問われそう」
- ・「東京、中京圏で在宅勤務を採用。少しずつだが、成果が出始めている」「一部の部署で不足気味。残業で対応している。そうした中、新卒採用を予定。中途採用も求人中」「実習生が来日できるようになるまではワーカー不足が続くそう」

建設業

官公需

概況 12月の公共工事入札金額は、前月比減少、前年比では増加。
補正予算工事も見込まれ、公共工事は底堅い

- ✓公共工事入札額…当地区における当月の県、市町村発
入札額注工事の入札額合計は、約
14.2億円。前月比24%減少、前年比
では21%増加。(1月25日調査時点)
- ✓受注残高……………減少～横ばい。年度末に向けて進捗
が進み減少傾向も、先行きは増加を
見込むとの声もある。
- ✓景況感……………概ね横ばいとの声が多い。先行きに
ついて大きな変化を見込む声は少
ない。
- ✓原材料価格……………多くの事業者で上昇傾向が続くが、
前月比では横ばいとの声も複数聞か
れた。



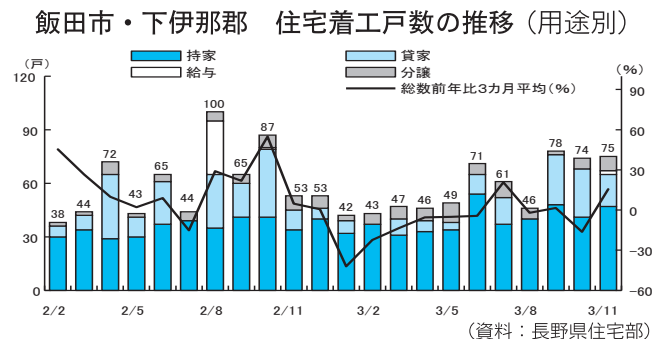
[企業からのコメント]

- ・「公共工事は補正予算が通り、三遠南信道工事、河川工事、山間部での防災・減災工事が発注され、例年を上回る工事量である。手持ちの工事を早く完成させないと、受注できない」「労働力に対して、十分な仕事量がある」「業務量はあるが、技術者が不足している」「補正予算工事が国、県、市町村と発注になってくるので、仕事は途切れない」
- ・各種資材の価格の値上げが顕著。今後も値上がりが続けば、設計単価の変更も早急に対処してほしい。

民需

概況 令和3年11月の住宅着工戸数は75戸で前年比42%増加、新築住宅の需要は引き続き堅調、民間工事増加との声も

- ✓住宅着工戸数…当地区の11月の住宅着工戸数は75戸。
前月比1%増、前年比では42%増。
- ✓景況感……………やや悪化～やや好転。民間でも工事量
が増加との声が聞かれる一方、仕事のある事業者とそうでない事業者に分か
れているとの指摘も。
- ✓原材料価格……………多くの事業者で上昇との回答。また資
材調達の遅れが納期に影響との指摘も。



[企業からのコメント]

- ・「民間も、木造建築工事や民間企業の設備投資で工事量増加」「住宅はますますだが、一般の工事はほとんどない。建築は忙しいところとそうでないところがあると思う」
- ・「鉄、木材、骨材、セメント、アスファルト等、二次製品の価格が値上がり。資材の調達と納期が大幅に遅れるなどの障害が出てきている」「資材の値上がり材工にまで及んでいる」

建設資材等

概況 12月の生コン、骨材の売上は前年比増加

- ✓塗料…売上は前月比、前年比ともに概ね横ばい。先行き景況感はやや悪化という。
- ✓生コン…売上の前月比はやや減少～横ばい。前年比では全ての業者で増加との声。
- ✓骨材…売上の前月比は業者により増減分かれる。前年比では増加との声。

[企業からのコメント]

- ・昨年に比べ1～2月の現場数は多くある。溶剤の値上がりや原料不足によるトラブルが心配。
- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、工場新築工事、護岸工事、治山工事、発電所工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の10%弱。
- ・当地域の生コン業界はリニア以外の仕事もあり忙しい状況。材料高騰により生コン単価の見直しをしていく。
- ・生コン需要に対し、今後砂利業界が供給しきれんのか注目がされている。真価を問われる時期に差し掛かったといえる。

商業・サービス業

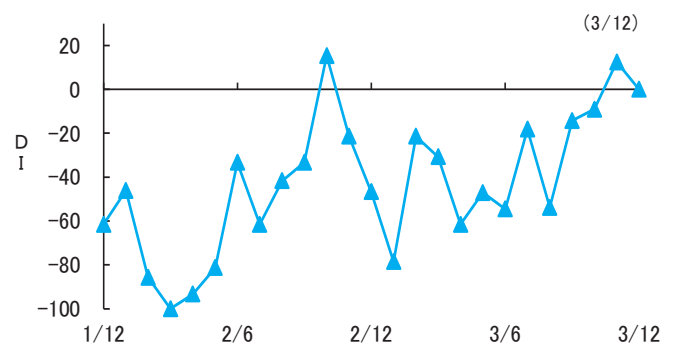
概況 景況感は横ばい、新変異株による今後への影響は必至

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）は、0.0で、前月から12.5ポイント低下。

12月時点では当地域でコロナ感染者は発生しておらず、飲食業を中心に売上回復との声が聞かれたが、年明けの感染急拡大により先行きに関する景況感は悪化しており、今後への悪影響は避けられない状況。

コロナ禍に加え、原油価格の値上げや物流コスト上昇により、様々な商品が値上がりしている状況から、消費の弱さを指摘する声が聞かれた。半導体不足による商品不足の影響も続いているという。

商業・サービスD I



主な業種の動き

●小売業 概況 売上は前月比では増加、前年比では減少～やや減少

☑売上…年末を迎え前月比では増加しているが、前年比では減少～やや減少との声。

☑景況感…大きな変化はないとの声が多い。

[企業からのコメント]

- ・コロナ禍ではあるが全般的には落ち着きを取り戻している。来店頻度は減少しており、客数の減少が続いている。
- ・コロナ対策商品券の配布があり、コロナでの売上減少は飲食店以外は回避できている模様。
- ・ドラッグストアが生鮮食料品販売に向け、動きが出始めている。

●卸売業 概況 景況感は横ばいとの声が多い。半導体不足の影響は続く

☑売上…前月比は増加との声が多いが、前年比では業者により増減分かれる。OA機器関連では半導体不足の影響が続いており、商品の確保が難しいとの声も聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・野菜は昨年が安値であったため、今年は前年より価格高となり一昨年並となった。動き自体はあまり良くなく、入荷量は減少。大根やかぶ菜・白菜は販売に苦勞した。果実は、主力の市田柿は昨年より作柄良く、りんご（フジ）も全国的に少ないため引き合いが強く、ともに入荷増、価格高。苺は前進出荷で年末に少なく入荷減、価格高。みかんはほぼ前年並み。果実全体では入荷量やや増、価格高で、良い結果であった。
- ・「半導体不足による商品欠品の影響が残っている。特に複合機、iPad、プロジェクターなど」「需要は市場全体で例年通りだが、世界的な半導体不足、欧米（アメリカ）での経済活動再開による需要増加とそれに伴う輸送コンテナの集中、生産国工場の操業停止などにより、商品がない」
- ・「各メーカーから値上げの案内が届いている」「金属ベース値上がり等、仕入側が非常に厳しい内容になっている。商品を確認しなければならぬため、通常よりも多い在庫を抱えなければならない」「値上がり分をなかなか販売価格に転嫁できない。保守料金は更新のたびに目減りしていく」

●飲食・宿泊・運輸業 概況 足元の景況感は概ね横ばいも、先行きは悪化との声多数

☑売上…売上は前年比で増加との声が多くあるが、コロナ前の水準には戻っていないとの声も多い。オミクロン株の感染拡大により、先行きはどの業種でも売上減少を見込む声が多い。

[企業からのコメント]

- ・「来店客は多くなったが、まだまだ少ない。少人数の忘年会が多い」「食事、宴会等の予約が順調に入り、徐々に忙しい年末になってきた。予約件数はコロナ禍の前と同水準まで回復したが、密を避けて人数を絞っているため、売上の伸びはまだまだ」
- ・「GoToトラベル需要があった昨年と比べると12月の観光は一気に縮小した感じがあったが、コロナが落ち着いていたためビジネス需要は安定していた」「コロナ前は泊まりが少ない分を宴会でカバーできたが、今年末の宴会はゼロ」「宿泊事業者向けの県割引事業も二転三転でわかりにくい」「仲居さんの不足は続いている」
- ・今年の年末はコロナ感染者数の減少により、昨年と比べタクシーの動きは良かった。しかし大口先、企業の忘年会は自粛傾向であったため、週末の個人は動いていたが、平日の夜の動きは通年と変わらない状況だった。
- ・「新型コロナウイルスが発生するたびに予約が減少し、キャンセルが発生する。オミクロン株いかに、今後も大きく変動すると思われる」「オミクロン株の動向で移動制限がかかれば、ビジネス需要も影響を受けるので心配」「オミクロン株の感染拡大がどうなるか次第」「来年は大きなイベントがたくさんあるが、オミクロン株が心配」
- ・星空ナイトツアーは再開と同時に予約が入りだしたことを見ると、やはり来てみたい方もいるのだと感じている。
- ・全国の企業が国の各種支援を受けて生き延びているが、国や県の状況を考えれば後は負担増になることも想定すべき。
- ・この地域が公共交通空白地域となってしまうのはいけない。業者間の垣根を取り払って協力し、サービスの提供を継続していくことが最も重要。

リニア新幹線と世界へのゲートウェイ

～リニア駅乗降客数と駐車場台数～

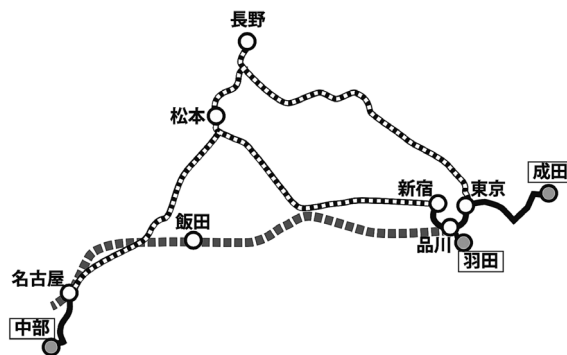
年が改まり、コロナ終息後の明るい話題といきたいところであるが、目下のところ第6波が蔓延し先行き見通しが立たない状況にある。そんな中であるが、今回はリニアと空港について、私たちが海外へ出かける、いわばアウトバウンドの場面について取り上げたい。

1. ゲートウェイが意味するもの

当地域にできるリニア駅については、「長野県の南の玄関口」、「世界へのゲートウェイ」が掲げられている。県内の現状をみると、長野、松本、飯田から成田、羽田、中部の各国際空港への時間距離は概ね下表のようになる。所要時間は主にインターネット検索に拠ったが、コロナにより通常通りの運行ができない公共交通機関が見られる。飯田にとっては、中部国際空港はさておき成田、羽田は遠い空港であるが、リニアにより品川駅45分、名古屋25分程度となると県内で国際空港に一番近い地域となることが判る。リニア長野県駅への移動時間を併せて考えると、県内のかなりの地域から海外へ向かうために当駅を利用する、まさに長野県の玄関口となっていくことが期待される。



世界へのゲートウェイ概念図



公共交通期間利用の空港までの時間距離

空港	長野	松本	飯田	備考
成田	北陸新幹線 (上野駅) 京成ライナー 100分+44分=144分	中央東線あずさ (新宿駅) 成田エクスプレス 160分+87分=247分	中央高速バス (新宿駅) 成田エクスプレス 255分+87分=342分	コロナのため、成田エクスプレスは新宿-東京間は運休中。実際は東京駅への乗り継ぎを要する
羽田	北陸新幹線 (東京駅-浜松町) 東京モノレール 98分+6分+18分=122分	中央東線あずさ (新宿駅-品川駅) 京浜急行 162分+22分+18分=202分	中央高速バス (新宿駅-品川駅) 京浜急行 255分+20分+18分=293分	コロナのため、国際線は第3ターミナルのみとなっており、そこまでの時間
中部	中央西線しなの(名古屋駅) 名鉄ミュージスカイ 183分+24分=207分	中央西線しなの(名古屋駅) 名鉄ミュージスカイ 128分+24分=152分	中央高速バス(名古屋駅) 名鉄ミュージスカイ 124分+24分=148分	

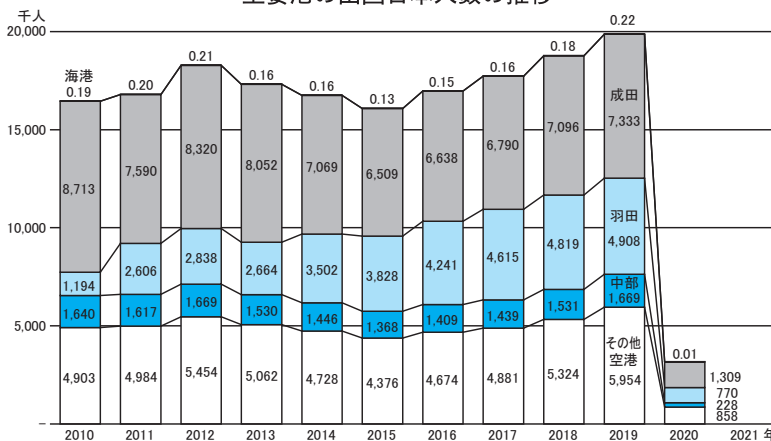
- ・ジョルダン「乗換案内」、各空港HPを参照
- ・乗り換え時間、待ち時間は考慮しない
- ・コロナのため、成田エクスプレスは新宿-東京間が運休しているほか、日中は全区間運休となっている時間帯があることに留意

2. 海外出国の状況

海外へ出かける人の状況を、法務省出入国管理統計表を見ると、コロナ前の2019年の20,080千人が最多で年々増加を示してきたが、コロナ発生により2020年には前年の15%程度にまで落ち込んでいる。

港別に出国者数が発表されているが、港といっても船で出国するのはコンマ以下で殆どは空港となる。従来国際線は成田、ということで過半を占めたが、航空政策の変更もあって羽田のシェアが徐々に上がっていることが

主要港の出国日本人数の推移



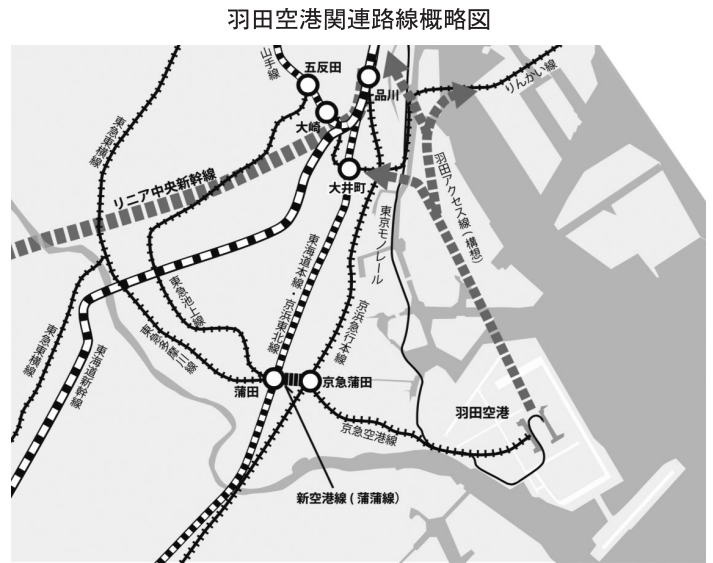
判る。県内関連として成田、羽田、中部の推移を見たが、関空、福岡、新千歳など「その他空港」も徐々にシェアを上げていることも無視できない。

3. 羽田空港に関する動向

リニア開通に関し、旅行社に聞き取りしたところ、期待することとして「羽田空港へのアクセスが劇的に短縮すること」が挙げられた。現状の5時間超から1時間余と大幅な短縮。「羽田は世界各国への路線が多く、乗り入れ航空会社の競争が激しいため、料金的にも他空港の路線より安い。選択肢が増えるのは良いこと」としている。

羽田空港へは、現状でも品川駅から京浜急行で20分弱と不便はないが、新しい路線の構想がある。JR東日本は羽田空港の第二ターミナルビルから地下を抜けて田町駅付近で山手線と接続して東京駅方面と接続するほか、大井町方面やりんかい線を経て新木場駅で京葉線と接続するなどの構想があるという。

また、京急蒲田駅とJR蒲田駅との800mの間に新線「新空港線」（通称：蒲蒲線）を建設。東急東横線を経由して渋谷、新宿、池袋、埼玉県方面とを直通させる構想が進められている（大田区HP）。こうして、リニア新幹線が開通する頃には羽田空港近辺の交通事情は大きく変わることとみられる。



4. リニア長野県駅の駐車場は

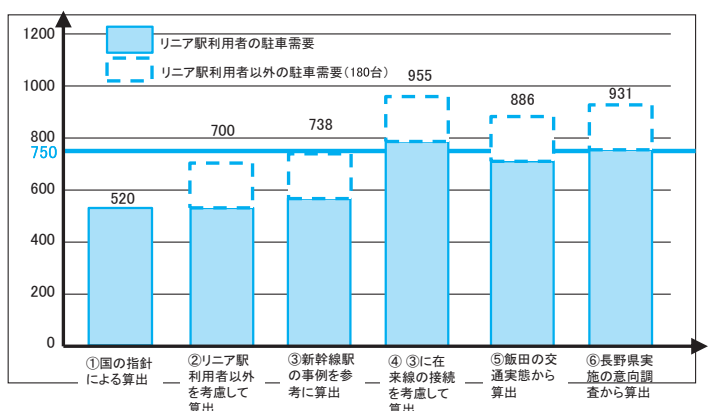
今回、リニアと国際空港について取り上げたのは、ある本誌読者の方から示唆をいただいたことによる。リニア開通により、国際空港ひいては世界が近くなり、世界と直結する。「県内や三遠南信地域各地からリニア長野県駅に空港利用のため多くの方が来るようになる。何日間も駐車場を占有されると駐車スペースの確保がたいへんとなり、駐車台数の設定が課題となる」との指摘であった。

リニア長野県駅の駐車場計画台数は750台。まず1日の乗降客数6,800人に対応する必要台数の算出が行われる。それに加え、「休憩施設としての駐車需要、高速バスのターミナル機能の充足」などとして180台を見込むとしている。海外へ行くために駐車する方々は、リニア利用者かリニア利用者以外の利用者か（どちらの категорияに入れてあるか）であるが、いずれにしても、海外へ行くためにどれほどの人が長野県駅に来て、駐車場を利用するか、要検討かも知れない。

飯田市では、当地域は家人が駅へ送迎する（いわゆる「キス&ライド」）行動パターンがひろくみられることや、リニア開通の頃に自動運転の普及がどのようになってそれが駐車台数の需要にどう影響するかなど、見極めきれない部分があることから、当面は立体とせず平場で500台規模の駐車場を整備するとしている。

(参考：パーク&ライド駐車場の規模について)

・パーク&ライド駐車場については、リニア利用者の利便性向上、新たな玄関口形成に伴う需要の想定などをもとに、いくつかのアプローチで必要台数の推計を行い、本構想では、現時点で妥当な規模と目される750台に設定します。



※リニア駅利用者以外の駐車需要
一般道路の休憩施設としての駐車需要、高速バスのターミナル機能をパーク&ライド駐車場の利用で充足するといった需要を想定

「リニア駅周辺整備基本構想」18頁

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数							
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野		伊那・駒ヶ根～新宿	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成27年	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1	—	—
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8	—	—
29	705	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1	—	—
30	637	△ 9.6	327,033	△ 0.3	219,979	0.6	112,882	△ 2.4	—	—
令和元	710	11.5	326,056	△ 0.3	226,581	3.0	108,454	△ 3.9	263,821	—
2	771	8.6	102,394	△ 68.6	85,747	△ 62.2	49,063	△ 54.8	71,390	△ 72.9
令和2.10	87	67.3	7,317	△ 60.9	7,335	△ 61.8	4,234	△ 52.1	4,778	△ 70.1
11	53	△ 45.9	7,299	△ 73.7	7,446	△ 59.6	3,782	△ 57.4	4,100	△ 81.3
12	53	△ 19.7	5,628	△ 80.3	5,813	△ 68.7	3,121	△ 60.5	3,274	△ 85.5
令和3.1	42	△ 60.7	3,607	△ 86.6	3,889	△ 78.3	2,914	△ 63.4	2,323	△ 89.0
2	43	13.2	4,209	△ 79.8	3,848	△ 74.5	2,949	△ 60.4	2,392	△ 85.9
3	47	6.8	6,925	△ 38.6	6,945	△ 19.9	3,953	△ 11.6	3,680	△ 60.9
4	46	△ 36.1	5,695	314.8	5,607	168.7	3,264	53.8	3,313	125.1
5	49	14.0	5,085	168.6	4,656	223.6	2,967	64.4	2,632	—
6	71	9.2	5,256	5.7	4,617	10.1	3,220	△ 7.1	2,907	210.6
7	61	38.6	7,226	56.5	6,906	20.4	3,298	△ 18.5	4,194	67.3
8	46	△ 54.0	7,014	59.4	6,872	65.6	2,543	△ 16.3	4,219	30.8
9	78	20.0	6,230	4.7	4,937	△ 16.3	2,852	△ 19.9	4,242	18.3
10	74	△ 14.9	10,302	40.8	8,133	10.9	3,919	△ 7.4	6,863	43.6
11	75	41.5	12,979	77.8	10,125	36.0	3,905	3.3	7,208	75.8
12	—	—	15,968	183.7	11,360	95.4	3,884	24.4	9,827	200.2
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社							

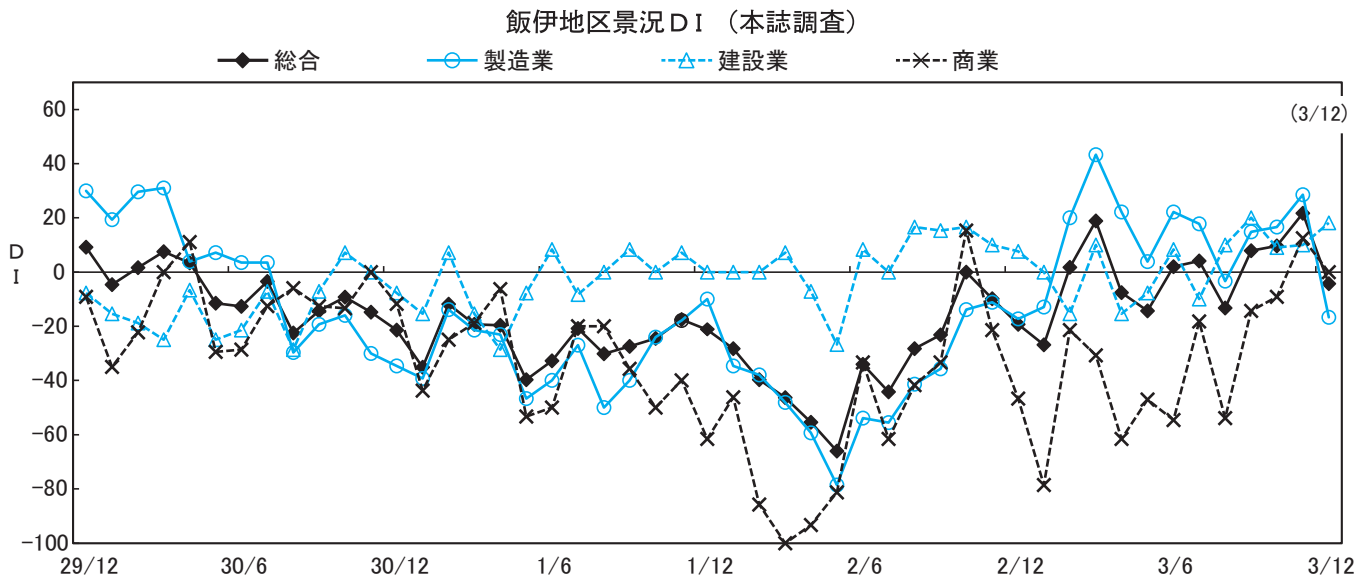
項目 年月	自動車新規登録台数 (松本自動車検査登録事務所管内)				有効求人倍率		
	新車		中古車		長野県	飯田管内	
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値 (但、年平均は実数)	パート含む実数	パート除く実数
	台	%	台	%	倍	倍	倍
平成27年	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—	—
30	27,525	0.6	7,352	1.1	1.70	—	—
令和元	29,312	6.5	8,548	16.3	1.60	—	—
2	26,002	△ 11.3	8,674	1.5	1.16	—	—
令和2.10	2,214	23.3	787	3.4	1.05	1.03	1.09
11	2,174	3.5	680	4.3	1.08	1.15	1.26
12	2,127	5.8	701	6.2	1.13	1.24	1.33
令和3.1	2,062	2.8	523	3.8	1.17	1.24	1.40
2	2,192	△ 1.5	665	△ 3.9	1.19	1.22	1.41
3	3,873	6.6	1,059	15.9	1.25	1.23	1.40
4	1,891	19.2	834	3.5	1.30	1.19	1.38
5	1,581	15.6	648	26.6	1.32	1.18	1.35
6	1,929	△ 1.3	780	1.8	1.40	1.31	1.47
7	2,040	△ 7.4	759	△ 13.8	1.44	1.41	1.60
8	1,820	3.1	634	△ 4.5	1.41	1.41	1.59
9	1,737	△ 36.7	724	△ 5.6	1.38	1.38	1.56
10	1,629	△ 26.4	730	△ 7.2	1.39	1.50	1.62
11	1,978	△ 9.0	693	1.9	1.38	1.48	1.67
12	1,940	△ 8.8	667	△ 4.9	—	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野労働局・ハローワーク飯田		

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成27年	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
30	40,929	54,405,406	93	20	1,815	△ 5.2
令和元	37,047	51,833,945	79	8	1,842	1.5
2	32,204	47,885,737	80	8	3,707	101.2
令和2.10	2,260	3,214,705	7	0	213	43.9
11	2,688	3,479,775	6	0	203	39.0
12	2,697	3,556,043	2	0	250	20.8
令和3.1	2,219	3,207,004	3	0	110	△ 15.4
2	2,377	3,521,051	9	1	178	20.3
3	2,989	5,343,135	11	1	506	121.0
4	2,459	3,407,990	3	0	65	△ 74.9
5	2,389	3,635,849	4	1	84	△ 84.6
6	2,513	4,200,108	5	1	102	△ 83.8
7	2,156	2,697,156	6	1	95	△ 81.7
8	2,688	3,819,754	1	0	115	△ 66.5
9	2,280	2,770,797	4	1	140	△ 40.4
10	2,056	2,555,040	10	1	119	△ 44.1
11	2,511	3,039,284	6	1	105	△ 48.3
12	2,442	3,308,550	—	—	180	△ 28.0
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)									
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C		座光寺 S I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%	台	%
平成27年	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0	—	—
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4	—	—
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4	—	—
30	2,765,376	0.2	1,871,062	0.3	423,828	15.1	1,017,497	△ 0.1	—	—
令和元	2,741,865	△ 0.9	1,836,395	△ 1.9	405,661	△ 4.3	1,015,783	△ 0.2	—	—
2	2,191,489	△ 20.1	1,539,468	△ 16.2	330,231	△ 18.6	849,805	△ 16.3	—	—
令和2.10	210,908	△ 7.4	156,747	△ 1.4	42,201	21.9	90,939	2.6	—	—
11	209,769	△ 13.8	164,232	△ 8.9	36,975	△ 10.7	95,852	△ 9.2	—	—
12	184,721	△ 17.0	133,006	△ 12.4	20,329	△ 26.1	67,333	△ 14.2	—	—
令和3.1	146,814	△ 28.8	102,471	△ 24.0	17,309	△ 28.1	49,999	△ 29.6	—	—
2	152,693	△ 20.3	107,189	△ 16.5	17,504	△ 29.9	54,490	△ 20.0	—	—
3	196,614	0.1	132,148	2.2	21,394	△ 12.9	73,022	2.7	7,353	—
4	165,491	21.5	97,922	4.0	40,698	107.5	77,955	51.5	51,242	—
5	155,371	23.4	93,665	4.9	28,403	34.7	67,694	52.0	49,070	—
6	161,287	△ 5.9	101,444	△ 14.4	23,748	△ 14.8	63,407	3.2	51,295	—
7	178,849	△ 1.1	109,836	△ 8.6	27,957	29.9	84,791	29.3	57,001	—
8	163,627	△ 10.4	96,034	△ 25.7	27,010	△ 24.6	80,197	△ 2.3	49,324	—
9	160,176	△ 17.9	106,413	△ 24.8	24,117	△ 22.7	72,290	△ 10.1	54,464	—
10	195,527	△ 7.3	129,595	△ 17.3	37,818	△ 10.4	95,606	5.1	64,606	—
11	202,221	△ 3.6	140,844	△ 14.2	39,761	7.5	99,295	3.6	66,298	—
12	190,907	3.3	116,955	△ 12.1	23,173	14.0	77,396	14.9	63,362	—
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター									

飯伊地区全産業景況DIの推移



統計調査から

【2020年工業統計調査確報による、長野県の労働生産性と設備投資】

労働生産性とは付加価値額を労働投入量で割った値で、労働生産性が高いほど効率よく付加価値を獲得していることになる。

労働生産性を向上させる要因を分解する方法にはいくつかあるが、以下のような要因に分解することもできる。

$$\frac{\text{付加価値額}}{\text{労働投入量}} = \frac{\text{資本ストック}}{\text{労働投入量}} \times \frac{\text{付加価値額}}{\text{資本ストック}}$$

$$\downarrow \qquad \qquad \downarrow \qquad \qquad \downarrow$$

$$\text{労働生産性} = \text{資本装備率} \times \text{資本生産性}$$

これは、機械や設備への投資は労働生産性を高める有効な手段の一つで、資本ストックを増やして資本装備率を上昇させれば労働生産性は高まりうるが、それに見合った付加価値額を獲得しなければ資本生産性が低下し、思ったほど労働生産性が上がらない、あるいは低下することもありうるということを表している。

下の図表は、2020年の工業統計を基に、2019年の長野県と全国の労働生産性や資本装備率、資本生産性を、製造業産業中分類別に試算したものである。例えば長野県の食品製造業は、資本装備率、資本生産性ともに全国よりも高く、労働生産性も高い結果となった。

業種	長野県			全国			業種	長野県			全国		
	労働生産性 (万円)	資本装備率 (万円/人)	資本生産性 (万円/人)	労働生産性 (万円)	資本装備率 (万円/人)	資本生産性 (万円/人)		労働生産性 (万円)	資本装備率 (万円/人)	資本生産性 (万円/人)	労働生産性 (万円)	資本装備率 (万円/人)	資本生産性 (万円/人)
総数	1,171	967.9	1.2	1,438	1,278.1	1.1	鉄鋼	940	1,600.6	0.6	1,375	3,422.9	0.4
食料	1,214	903.5	1.3	979	826.5	1.2	非鉄	850	998.7	0.9	1,620	1,977.2	0.8
飲料	1,597	1,659.1	1.0	3,670	3,049.2	1.2	金属	1,042	950.6	1.1	1,140	1,025.5	1.1
繊維	315	360.9	0.9	705	710.5	1.0	はん用機械	1,101	1,150.3	1.0	1,473	1,041.6	1.4
木材	670	1,136.1	0.6	1,279	1,251.2	1.0	生産用機械	1,030	907.2	1.1	1,346	1,055.2	1.3
家具	1,510	905.7	1.7	974	894.1	1.1	業務用機械	1,183	493.8	2.4	1,328	775.1	1.7
紙・パルプ	1,087	1,266.0	0.9	1,476	2,013.6	0.7	電子	902	1,068.2	0.8	1,276	1,491.0	0.9
印刷	900	803.9	1.1	935	847.5	1.1	電気	986	709.5	1.4	1,334	770.2	1.7
化学	3,047	2,590.6	1.2	3,164	2,598.8	1.2	情報	2,368	1,036.0	2.3	1,627	691.3	2.4
プラスチック	821	812.9	1.0	1,132	1,098.6	1.0	輸送	960	841.3	1.1	1,639	1,169.7	1.4
ゴム	515	677.7	0.8	1,320	877.1	1.5	その他	844	832.6	1.0	1,417	861.9	1.6
窯業	2,465	2,894.1	0.9	1,478	1,745.6	0.8							

※1 資本装備率、資本生産性における資本ストックは、工業統計における固定資本年末現在高

※2 労働生産性、資本生産性における労働投入量は、工業統計における従業員数で代置